

かつやま 6月定例会報告

議会だより

2024.7.25

No.92

常任委員会報告…………… P 2

一 般 質 問…………… P 4

特別委員会報告…………… P 9

審 議 結 果…………… P11



九頭竜川の鮎釣り

永年勤続表彰

長年の市政振興への尽力に対する功績により、永年勤続15年以上表彰として、帰山寿憲議員、松山信裕議員、乾 章俊元議員が全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から表彰されました。

また正副議長在職4年以上表彰として、乾 章俊元議員が全国市議会議長会及び福井県市議会議長会から表彰されました。



帰山 寿 憲 議員



松山 信 裕 議員



乾 章 俊 元 議員

常任委員会報告

● 予算委員会

令和6年度勝山市一般会計補正予算（第1号）および令和5年度勝山市一般会計補正予算（第9号）に関する専決処分の承認を求めることについて審査を行い、可決並びに承認することに決しました。

◆ 地域交通対策事業費【120万円】

市内のオートスタンドが令和7年度を目処に廃止される予定であるため、タクシー事業者がLPガス車両を省エネタクシー車両に入れ替える経費として計上されました。背景としては、令和5年度よりLPガス車両から省エネ車両（HV・EV・PHEV及びFCV）への入れ替えに要する経費の一部を支援することで地域交通を維持することが目的です。入替予定車両全7台のうち令和5年度に2台支援しており、残りは令和6年度に3台、令和7年度に2台支援する予定でしたが、事業者の購入計画の変更に合わせて令和6年度に5台支援することとなりました。

◆ 市制施行70周年記念事業費

令和6年度当初予算の委託料(791万円)は、事業で見込まれるコンサート入場料等の収入を差し引いて計上していたことから、全体事業費が不明確であったため、コンサート入場料等を勝山市の歳入とすることで事業費全体の透明化を図りました。

[歳入] ※市制70周年記念イベント入場料等	
補正額	4,680,000円
(内訳)(1) 音楽交流協会共催負担金	
	880,000円
(2) 記念コンサート入場料	500,000円
(3) 綾小路きみまろ入場料	3,300,000円
[歳出] ※市制70周年記念事業委託料	
既決額	7,909,000円
補正額	4,380,000円
補正後予算額	12,289,000円

◆ 米保冷库等整備事業補助金【450万円】

《対象者》

次のいずれかの出荷先、販売先及び学校給食用に、勝山市産米を販売する農業生産組織、認定農業者及び地域計画に位置付けられる担い手に補助されます。

1. 道の駅「恐竜渓谷かつやま」
2. 勝山市ふるさと納税 返礼品
3. 勝山市立小中学校 学校給食

《補助対象》

1. 保冷库
2. 保管庫
3. 梱包用シーラー
4. 精米機
5. フォークリフト

《補助率》

補助対象額の1/2以内（千円未満切り捨て）とし、1会計年度あたり上限100万円とします。

◆ 今年3月閉鎖の保育園跡地活用

- ・平泉寺保育園及び野向保育園の土地及び建物を公募売却する。
 - ・建物は老朽化していることから無償譲渡する。
 - ・市の活性化に寄与する用途に供するもので市内に事務所のある個人や企業に有効活用していただく。
- 委員からは、地域住民の意見をよく聞き話し合い、地域住民が納得できる保育園の跡地利用を考えてほしいと、意見がでました。

◆ 福井県立大学恐竜学部生に対する支援制度について

1人でも多くの学生に勝山市に住んでいただき、まちの活性化につなげることを目的とした、各種支援制度について説明がありました。

委員からは支援制度の効果的な情報発信及び拡充について活発な提案がされました。

また、市民、地域と学生を結びつける取り組みなどについても様々な意見がありました。

● 建設産業委員会

◆ 元禄線の歩道の高質化・改修について

事業スケジュール及び進捗状況ほか、路面、照明のデザイン等に関する説明がありました。

これについて、委員からは当初予算の趣旨に則った形で適正に予算が執行されているか、照明時間など利用者の実態に沿った運用がなされるかなどの意見が出され、事業の方向性の確認を行いました。



◆ 木造住宅耐震診断業務委託料、木造住宅耐震改修促進事業補助金について

当初想定していたよりも多くの相談件数があり、補正予算を計上したい旨の説明がありました。委員からは補助制度の詳細内容について確認があったほか、補助事業の対象となる改修方法が拡張されて、実態に沿った活用がされやすくなるよう検討されたい等の意見が出されました。

◆ 雁が原スキー場跡地への植樹について

事業内容、計画の進め方などについて、様々な協議がなされました。委員からは、5ヘクタールの広大なエリアに一度に植樹するのではなく、エリアを一部分に指定してモデル的に実施すべき等の意見が出されました。

● 総務文教厚生委員会

審査の結果、議案9件について全て可決並びに承認し、陳情1件を不採択としました。

◆ 山口茜選手パリオリンピック出場関連事業について

7月下旬から開催されるパリオリンピックのバドミントン競技、女子シングルスにおいて、山口茜選手の出場が決定しました。

山口茜選手を勝山市民とお祝いし、激励を行うため、激励会とパブリックビューイングの開催について説明がありました。

激励会は令和6年6月28日に開催されました。パブリックビューイングは勝山市体育館ジオアリーナで開催されます。

委員からは参加の申し込みが必要かどうかなど、準備状況について質問がありました。

試合は7月27日から予選リーグが始まります。パブリックビューイングは試合の日程等に対応していきたいとのことで、現在、勝山市のホームページでお知らせされています。



◆ 災害備蓄品の拡充について

勝山市防災会議を開催し、備蓄計画の見直しを行っていくこと、今後も計画的に備蓄を進めることに加え、現時点で不足している備蓄品について購入することの説明がありました。

委員からは災害時に効率的な配布ができるような備蓄場所の検討について要望がありました。

また、過去の水害を教訓に、地域で即座に対応できるような土のう及び土のう作成のための原材料の配置など、共助体制による災害対策について意見がありました。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 勝山市の高齢者に対する施策について
- こども会館建設について

その他の質問

・ 勝山市の根本的な雪害対策について



市政会 丸山忠男 議員



議 勝山地区老人会と水上市長との語る会が今年の3月27日、教育会館3階会議室において開催され、地区老人会が現在抱えている問題点や課題について話し合いが行われた。減少しつつある老人クラブ対策について担当課の見解を伺う。

理 勝山地区老人会連合会との語る会において、様々な意見交換を行うことができ、大変貴重な時間となった。その中で、老人クラブ等社会参加促進事業補助金の交付対象に関する御意見をいただいた。令和6年度からは事業を拡充し、10人以上30人未満のクラブと市高齢者連合会未加入クラブも交付対象となったので、クラブの増加や活動の活性化に期待したい。

またクラブ数増加のための施策として、高齢者が活動に参加しやすい環境づくりも重要と考えている。すこやかやまちづくり会館等既存施設での体操教室等の実施や、民間の商業施設等を利用した集いの場がある。市としても、高齢者の方が喜んで集えるような場づくりについて研究してまいりたい。

議 水上市長は、令和4年の12月市議会の招集挨拶において市教育会館に、屋内遊び場を新設し、こども会館(仮称)化を目的に改修を進めていく方針を示された。中央公園再整備等と共に一体的に行っていくと表明されたが、あれから2年が経過しようとしている。改めて市長の見解をお聞きたい。

理 こども会館については、こども政策をハード面から支える重要施策と考えており、教育会館の一部に全天候型遊戯場を設置し、隣接する中央公園との一体的活用を目指した再整備を予定している。理由として、教育会館にはこども家庭センターを設置し、子育て相談や保育環境の充実に取り組んでいること、教育総務課やこども課の持つ充実した支援機能、相談機能を活かすことが可能になること、教育会館周辺に幅広い世代の市民の方が日常的に利用する施設が集積していること、国の補助金を活用できること等がある。他事業との関係で先送りしているが、しっかりと進めてまいりたい。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 勝山市の今後の施策について
- 各種のイベントについて

その他の質問

・ 観光行政について
・ 公共施設の開館時間について



市政会 帰山寿憲 議員



議 水上市政1期目の実績は十分であるが、多くの施策はさらなる推進と継続が求められる。今後も施策が継続されるべきと考えるが、水上市長の2期目に対してのお考えを伺う。

理 今後の施策について、令和8年春に開校する県立大学恐竜学部勝山キャンパスと市教育施設との連携、中部縦貫自動車道県内全線開通に向けた誘客対策、長尾山総合公園への宿泊遊戯施設等の開業、人口減少下における地域コミュニティの維持、市内全域へのフルデマンドバスの導入、教育会館への屋内遊戯場の整備、給付型の奨学金制度の創設、中央公園のこども公園への改修、勝山中学校開校に向けた準備や跡地の利活用、まちづくり会館の防災機能の強化、農林水産業収益化への支援、18歳までの総合的な支援等、様々な夢と課題が山積している。

勝山市の未来を見据えたグランドデザインを描き、市議会の皆様との協議を重ねて市民の皆様とともに夢を実現したい。新しい勝山、楽しい笑顔のまち勝山を発展させたい。

議 勝山市のイベント集客力には課題がある。勝山市の歴史の半分は恐竜と共に歩んできたが、見せる、楽しむ、参加する、そのような成長型のイベントとして、恐竜祭りを開催してはどうか。

理 本年3月、ついに北陸新幹線金沢～敦賀間が開業し、特に福井駅周辺は恐竜モニュメントにあふれ、福井駅内の店舗では、恐竜ブランドのお土産品が数多く並び、恐竜を活かした観光誘客に注力することで、従来の数倍の観光客により熱気を帯びている。

本市においても、これまで以上に強力に恐竜ブランドを推し進める必要がある。本市を一層「恐竜のまち」に発展させるため、全国から「本気の恐竜好き」が本物の恐竜を学ぶ機会を創出する事業の実施を検討する。本物の恐竜を学べるまちとして全国的な注目を集め、市民も誇りに思うような文化を築くため、福井県立大学勝山キャンパスの開校にあわせ、現在市が実施している「かつやま恐竜スクール」の枠組みを活かしつつ、恐竜好きの児童・生徒が全国から集い学ぶイベントの実施を検討していきたい。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 新中学校開校後の現中学校の跡地について
- スクールバスについて

その他の質問
・市民の声について



森 かよ子議員



議 文部科学省が行った廃校施設等活用状況実態調査では、活用の用途が決まっていない施設は19%ある。用途が決まらなければ空き家となり、一度空き家となれば使い手を探すことが困難となり、維持管理費がかかるだけとなる。跡地が負の財産にならないための具体的な利活用を早急に決めなければならないと考えるが、市の見解を伺う。

理 中学校再編後の跡地利用等については検討を始めており、令和6年5月には新中学校開校後の現中学校の跡地の利活用を検討するための庁内組織、勝山市中学校跡地利用庁内検討委員会を設置し、様々な課題整理を行っている。

中学校開校の令和9年4月には全ての中学校の跡地、建物の活用が決まり、それが全てアクティブに活用できれば良いが、人口が減少していく中で、公共施設そのものの必要性も見極めながら利活用すべきはする、利活用できないものについてはそういった決断をするということも考えていく必要があると思っている。

議 スクールバスは、中学校が1校になることによって必要不可欠である。降雪時の運行、体育祭等の土日の行事、土日の部活動時等、検討すべきことは数多くあるが、2024年問題で運転手の確保が課題となっている今、継続的に必要なスクールバスの運行計画はどうなっているのか、市民に安心していただける見解を伺う。

理 昨年度の再編準備委員会において、利便性や効率性等を踏まえ、路線バスをスクールバスとして活用することとした。1.5km以遠の生徒の利用で市内各地区からそれぞれ朝1便、夕方2便の運行を想定し、運行ルート等の検討を進めている。

バス事業者からは、開校時には路線バスを活用した10路線のスクールバスの運行は可能と聞いているが、継続的に生徒数や居住地域を考慮しながら、路線の本数やルートを検討し、事業者と協力して運転手の確保に努める。

また降雪時の運行等の対策についても、関係者と協議し、運行体制等の確立に向けて調整していく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 省エネ家電の買い替えに補助金制度を
- バス・タクシー運転士確保に対する補助について

その他の質問

- ・勝山駅前の整備について
- ・人口減少と女性活躍について
- ・定住促進・市営住宅の今後の課題について
- ・新中学校開校による3中学校の物品管理と廃校後について



市政会 下道恵子議員



議 市制70周年記念イベント事業に、家庭で使用している製造年月日が一番古いエアコンを届け出た方に、最新家庭用エアコンを1台プレゼントする企画があった。温室効果ガスの排出削減のほか、電気代を抑え家計の負担軽減を図る目的として省エネ家電の買い替えに補助金を出すことを今後も企画しないか伺う。

理 4月26日から実施している「市内の現役最古のエアコンを探そう!」では市民の皆様の省エネへの意識啓発を目的としている。この事業を通じて、省エネ性能の高いエアコンへの買い替えにより、電気代や二酸化炭素排出量がどれだけ削減されるかを知るきっかけになればと考えている。

省エネ家電への買い替え支援については昨年度より県が実施しており、エアコン、冷蔵庫に加え、今年度はエコキュートも対象としている。

省エネ効果の高い家電の普及は、家庭部門の二酸化炭素排出量の削減に効果的と言える。今後、省エネ家電割について利用促進を図るとともに、利用実績を注視していく。

議 運転士不足による県内のバス廃止路線が増加している。大野勝山広域バスは地元バスにより存続された。タクシー業界も同じ状況だ。越前市がバスやタクシー運転士を確保するために運転免許取得費用等への助成金を発表した。男性・女性関係なく幅広く募集している。勝山市も同じような施策ができないか。

理 バス、タクシーの運転士は、他の産業と比べ労働時間が長いことや給料が安いこと等を理由に全国的に減少している。そこに2024年4月より働き方改革関連法が適用され、運転士不足が加速している状況である。市内においては、4月より広域路線勝山大野線が運転士不足を理由に減便となったが、市内交通事業者には、当面の路線バスの運行並びに令和9年度から運行開始予定のスクールバスやフルデマンドバスの運行には支障がないことを確認している。長期的には、運転士の高齢化等により予断を許さない状況であるため、今後も引き続き交通事業者と意見交換を行い、補助制度を含めた人材確保対策を検討していく。

- ギャンブル等依存症対策について
- 防犯カメラの設置について

その他の質問
・ 農業政策について



吉田将克 議員

議 ギャンブル等依存症について、どのような相談体制をとり、啓発週間にはどのような活動を行っているのか伺う。

理 ギャンブル等依存症とは、ギャンブル等にのめり込むことにより日常生活や社会生活に支障が生じている状態を指し、WHOの国際疾病分類で正式に病気として認められ、アルコール依存症等と同じ疾病分類のギャンブル障害として位置づけられている。

市の相談体制の現状は、アルコール依存症や薬物依存症と同様、勝山市障害者生活支援センターにおいて、本人やその家族の電話、面談による相談を受け対応している。福祉課、健康体育課、市社協、民生委員等への相談の中で、ギャンブル等依存症が疑われる場合、精神障害として障害者生活支援センターが関わり、依存回復支援プログラムを行っている施設、障害者の居場所を提供している施設、当事者の自助グループ等の情報提供や同行支援を行っている。また啓発週間には、啓発ポスターや相談窓口が記載されている精神保健福祉マップの掲示、依存症セミナー等の案内チラシも設置している。

今後、市ホームページや広報紙で相談窓口を掲載したり、ギャンブル等依存症問題等啓発週間のPRをしたりする中で、ギャンブル等依存症について正しい知識や対処方法、相談窓口の周知等、普及啓発を図っていく。

議 防犯カメラの設置台数がプライバシーの保護を要因として増加しないと考えられるが、勝山市の防犯対策にむけ、今後どのように取り組むべきか伺う。

理 市では毎年、全区長を対象に防犯カメラ等に係る補助金の周知や希望調査を行っている。今後は、それらの説明に加え、さらに防犯の意識を高めるとともに、犯罪抑止のための防犯カメラの有用性とプライバシー保護の調和を図るための啓発普及や支援を行い、地域での防犯カメラ設置を推進していきたい。

市民の安全安心な生活環境を守り、勝山市全体の防犯力の向上を図るため、福井県や警察、防犯隊等と連携しながら防犯対策に努めてまいりたい。

- 困難な問題を抱える女性への支援充実について
- 子どもにやさしいまちづくり事業の推進について

その他の質問
・ 気象防災アドバイザーの活用について



新風会・公明 安岡孝一 議員

議 生活困窮や性被害、DV等に苦しむ女性を包括的に支えるための「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が本年4月1日に施行された。今の物価高や先行きが見えない中で社会のしわ寄せを最も受けているのは若者達であり、特に若年女性ではないか。「困難女性支援法」により年齢や障害の有無、国籍等を問わず、あらゆる困難に直面する女性に対して、「誰一人取り残さない」との思いで、包括的かつ継続的な支援を行って頂きたいが、市の所見を伺う。

理 DV相談の事例では、子どもを巻き込んだ面前DV等児童虐待が疑われるケースもあるため、児童相談所等、関係機関と連携しながら経済的自立や心身の回復を図れるよう包括的に相談、支援を行っていく。生活困窮や相談に繋がりにくい若年女性等の問題については、相談窓口の周知に努めるとともに、県や各関係機関と連携し、相談者に寄り添い、継続した支援を行っていく。

議 1994年に日本も批准している「こどもの権利条約」では、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の4つを子ども達が持つ基本的な柱としている。子どもが一人の人間として扱われ、社会と関わることなしに、安全で安心な持続可能な地域の未来はない。そこで当市においても「子どもにやさしいまちづくりの宣言」の制定の検討を行い、地域ぐるみで子どもの権利についての教育や啓発活動を積極的に推進すべきと考えるが、市の見解を伺う。

理 令和5年4月に施行されたこども基本法に基づき、国では、こどもまんなか社会の実現を掲げたこどもまんなか宣言を実施した。こうした動きに合わせ市では、本年4月にこどもまんなか応援サポーター宣言を行った。また令和6年度に第3期子ども・子育て支援事業計画の策定に併せ「こども計画」を策定し、この計画の中で子どもや若者の社会参画や意見を反映していく。全ての子ども達が安全安心して笑顔で暮らせるよう地域や学校で子どもの権利の普及・啓発を図っていく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 学校給食について
- 高齢化社会に対応する"買い物弱者"への支援について

その他の質問

・婚活事業について ・地域住民が気軽に立ち寄れる場所、サードプレイスについて
・教育会館、中央公園の改修について
・勝山市制70周年を記念した、ご当地グルメ期間限定メニューの提供について



浦上雄次 議員



議 国が有機農業の拡大に力を入れる中、給食に利用する市町村は増加傾向にあり、国の調査では140近くになる。人間にとって食というのは命そのものであり、「命を大事に」という教育を食からも学ぶことができれば、その子ども達も基本的なことを次世代に伝えていってくれるであろうと思う。できるところから少しずつ計画を立てて、オーガニック給食の実現に向けていけたらと考えるが、市の見解を伺う。

理 当市においては過去に、地域の方からお声がけをいただいた学校で、イベント的にオーガニック給食が取り入れられたことがあり、児童や教職員からは非常に好評であった。

しかしながら、オーガニック給食を継続的に実施するには、費用面や調達面等で課題も多いことから、スポット的に有機農産物を取り入れた給食を実施する等、地元の生産者の方等とも協力しながら、保護者や生産者に無理のかからないスキームの構築について研究していきたい。

議 総務省では高齢者等を中心に食料品の購入や飲食に不便や苦勞を感じる方を「買い物困難者」「買い物弱者」として位置付けている。高齢化社会に対応するべき内容について必ず予想される買い物弱者に対してのサポートは、勝山市としてどう考えているか。

理 市では、市社協に委託して、地区社協を中心とした買い物支援事業に取り組んでいる。この事業は地域において、地区社協のコーディネーターが中心となり、地域のボランティア、介護保険施設、介護サービス事業所等の協力を得ながら、デマンドバスやタクシー等も利用して、交通手段のない高齢者が自身で買い物に出かけられるよう支援するものである。これまでは、平泉寺、村岡地区において実施し、今年度からは新たに、遅羽、北郷地区においても実施している。また現在、市社協、地区社協、ボランティア、民生委員、交通業者、商業施設、介護サービス事業所、介護保険施設、市の各担当課等と情報交換の場をもち、地域の現状把握や今後の取組について検討を行っている。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 高齢者支援について
- 市と勝山高校の連携・協働について

その他の質問

・自治体経営について
・ジオパーク活動について
・スポーツによる地方創生について



竹内和順 議員



議 高齢者の一人暮らしの生活が市内各地で散見される。各地域による支え（互助）も限界がきているのではと思われる。過疎地域に限らず、互助に代わる高齢者支援のあり方について検討する時期に来ているのではと考える。民間企業や過疎地域の住民組織が、新たな形で生活支援サービスを提供する動きも出てきているが、市の見解を伺う。

理 社協や、民生委員、交通事業者、商業施設、介護サービス事業所、介護保険施設等が協力して買い物支援を行ったり、市内高齢者宅への配達や集金業務等を行う事業所と連携して高齢者の地域見守り協定を締結したりする等、市ではきめ細やかな高齢者支援を行っている。またNPO法人がコミュニティセンターの指定管理を受ける中で高齢者サービスにも取り組んでいる。

人口減少により地域コミュニティが縮小、共助の力が弱体化するにつれ、高齢者の見守りや生活支援のソーシャルビジネスあるいはコミュニティビジネスの増加が考えられる。公的支援と民間事業者等との連携を研究していく。

議 勝山高校の存続は市民全体の問題と考える。県立の勝山高校を“市立”のように愛着を持って、地域が勝山高校を支援し続け、総合計画に勝山高校について記載する、県と市の「設置者の枠」を超えられない側面はあるものの、協議会等を設置し、地域で勝山高校を支援する体制づくりをする等、市の考えを伺う。

理 勝山高校については、特に探究学習を通じて地域住民や事業者、地域産業等の地域資源と連携する場面や活動が多くなっており、こうした動きをさらに進めていくことが、今後の勝山高校の更なる魅力化、活性化に繋がると考える。そのためには、勝山高校や県教育委員会と協働し、地域資源を活かした連携を図る仕組みづくりや中心となるコーディネーターの配置等が重要であるとともに、市内小中学校と高校の連携を進めることで、地域と学校が育んできたつながりを継続的なものとしていくことも有効と考える。子ども達が勝山で学ぶ優位性を高め、愛着を深めながら学ぶ環境を整備したい。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 勝山農業男子・農業女子について
- 「生成AI」を授業で使用する
ことについて



下牧 一郎 議員



議 一次産業である農業、漁業、林業等の自然と大きく関わる産業を大切に育てていく事が市政繁栄の根幹であり、人口減少を止め消滅可能性都市から抜け出して魅力ある勝山を創り上げることになると強く思う。今後の勝山農業男子・農業女子の施策について見解を伺う。

理 令和3年9月に、当市で頑張っている若手農業者を勝山農業男子・農業女子と位置づけ、応援プロジェクトを開始した。マルシェを実施したり、イベント事業に参加、出展したり、年間の活動頻度は増えてきている。令和6年1月には、応援プロジェクト参加メンバーを含め11名の若手農業者が、事業者同士の繋がりや活動の幅を広げて当市の農業を盛り上げるため、新たな団体ディノファーマーズを立ち上げ、独自事業として学校給食への地元食材の提供の実現に向けた取組を行ったりもしている。

市としても、若手農業者達の主体的な取組を支援するとともに、活動状況の情報発信を行い、応援に努めていきたい。

議 コンピューター技術の飛躍的な進歩で、文章はもちろんのこと音声や画像等、色々な物が生成AI（人工知能）で作られるようになり、身近な存在になってきた。そこで勝山市の小中学校では、生成AIを活用した授業、または生成AIに適応するような指導等は行われているのか伺う。また、近隣市町の状況等も研究していると思うが、今後どのような展望を考えているのか伺う。

理 小中学校での生成AIの利用は、国が暫定的なガイドラインを作成し教育への活用について慎重に進めていることもあり、勝山市では生成AIを活用した授業での取組はまだない。AIは生活の中にどんどん入ってきており便利に使っていききたいものなので、学校教育でもポジティブに活用するようにしたい。近隣市町も同じ状況であり、今後はデジタルシティズンシップ教育をアップデートし、児童生徒が生成AIを正しく使える能力を身につけられるよう指導するとともにこれを活用した授業の研究を進めたい。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 新中学校は、市長選の市民判断より、市長権限を優先するのか
- えちぜん鉄道をサンプラザ前に
引込むことを再検討すべき

その他の質問

- ・ 今年11月末に実施される勝山市長選挙に向けた動きについて
- ・ 市長選挙では「市民が、勝山市の夢のある未来を語り実践する」政策が必要



日本共産党 山田 安信 議員



議 ①中学校の計画凍結と再検討を求める署名が8千人を超え、前回の2倍に増えたのに、市民の声を聞かず強行するのが水上市長の特徴だ。市長選挙で中学校問題が争点になると考えないのか。

②中学校は選挙結果で判断するのが適切だが、校舎工事の議案は、選挙直前の11月臨時議会か、たとえ落選しても12月議会に提出する考えなのか。

③地下通路の先行着工は、校舎工事との関連で工事差止や善管注意義務違反で提訴される可能性がある。それでも強行するのか。

理 ①3月定例会の議決を踏まえ、新中学校建設特別委員会にて進捗状況や協議内容の報告、説明を行い、議員からも様々なご意見、ご要望等をいただきながら進めているところである。今後も遅滞なく準備を進めていきたい。

②令和9年4月の開校に向け、できるだけ早く議会にお諮りしたいと考えているが、現時点ではその時期が未定なため、今後、特別委員会等でご相談したい。

③3月議会でお認めいただいた関係の予算と条例の一部改正に基づき、その実現に向けて遅滞なく業務を遂行していくことが我々に課せられた責務であると考えている。

議 ①福井県の報告書で、勝山橋に電車を走らせることは可能なので、市街地引込みを再検証すべき。

②サンプラザ前が電車とバスのターミナルだと中心市街が活性化する。新中学校、こども会館・公園等の計画を再検討すべき。

理 ①平成27年度に、福井鉄道たけふ新駅からえちぜん鉄道鷺塚針原駅までの区間で、両鉄道の相互乗り入れが実施されると同時に低床車両も導入されたが、えちぜん鉄道勝山永平寺線の各ホームが低床車両に対応できていないうえ、市街地においても元禄線の勾配が急である等の課題があり、費用面も含め実現の可能性はない。

②教育会館をこども会館とし周辺施設と連携を取ることで、幅広い世代が利用しやすいエリアになると考えており、中央公園と一体的に整備して設置することが最適と考えている。

特別委員会報告

● 新中学校建設特別委員会

3月29日、4月10日、4月22日、5月15日、6月20日に委員会を開催しました。

まず、新中学校の大階段の設置等について、図面を基に議論しました。様々な意見が出されましたが、大階段は2か所設置する案で進めることとなりました。



また、地下横断歩道の設計について説明を受け、メンテナンスやセキュリティについて議論し、材質等の変更を求めました。

5月15日の特別委員会では、委員から出された課題について、議論すべき点を論点として議論しました。カリキュラムのこと、スクールバスのことなど、現在の進捗状況や考え方について議論しました。

委員からは中高の連携の方法や、考え方について多くの質疑がありました。

スクールバスについては、生徒の送迎に支障が生じないように、対策を講じる要望が出され、理事者からはアンケート等を通じたニーズ把握を行い、今後詳細を詰めていくとの回答がありました。

6月20日の特別委員会では、補助金の変更等に伴う設計変更内容の説明や、委員から提案があった、地下横断歩道の工法、内装仕上げの変更等について説明を受けました。

また給食室への食材等の搬入路や工事の際の車両の動線についても説明を受け、委員から様々な提案がありました。

今後、出された提案も含めて更に検討を重ねます。

本特別委員会では、勝山市の将来を担う子どもたち一人ひとりが、いきいきと活動できる、安全安心な学校が建設できるよう、今後とも議論を重ねてまいります。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 中部縦貫自動車道から勝山恐竜橋のおもてなしについて
- 医療、介護及び福祉の人材確保に関する支援策について

その他の質問

- ・勝山中学校について
- ・市政について



李 江嵐議員



議 インターを降りてから橋を渡るまでの道のりは非常に多くの車が行き交う場所で『勝山へようこそ来ていただきました』という「おもてなしのこころ」を表現する絶好の場所の一つだと考えている。またよく使う道に彩りが加わることで市内にも賑わいが生まれるのではないかと考える。勝山を印象付け、ブランド力（リピート率）を高めていくための「ようこそ勝山市へ」等とメッセージを用意することは可能か。

理 勝山インターチェンジを降りてから勝山恐竜橋までの空地や道路擁壁、えちぜん鉄道陸橋等のスペース活用については、これまでも庁内で検討してきたが、様々な規制により実現できていないというのが現状である。

令和8年の中部縦貫自動車道県内全線開通を目指し、現在庁内でPRと受入態勢の強化について検討を進めている。インターを降りた観光客の皆様がワクワクするような、帰りにはまた来たいと思っていただけるようなイメージアップと受入態勢の強化を図っていきたい。

議 医療福祉分野の人材不足は急務である。現行の奨励金制度の申請状況について伺う。介護の現場においても人材不足の問題に頭を抱えている。奨励金の額を引き上げての支援をご検討いただきたい。場合によっては5年働くという条件も見直す必要があると考える。この提案に対する所見を伺う。

理 医療、介護及び障害福祉人材確保奨励金交付事業の交付状況について、平成29年度の制度開始から7年間における奨励金の交付対象者数は、医療機関従事者が9名、介護サービス等従事者が13名、障害福祉サービス等従事者が2名、計24名となっている。

少子高齢化が進み、医療、介護、福祉現場の人材不足も深刻となっている。昨年開催した市内の介護保険施設との人材確保対策に関する情報交換会で、職員の離職防止の取組や業務負担の軽減を図る取組等をお聞きした。他にも様々な機会に奨励金事業の充実にかかるご意見は頂いている。引き続き現場の皆様のご意見をお聞きし、人材確保に向けた支援を検討していく。

令和5年度 政務活動費交付金収支状況（4月～8月分）

		新風会・公明	市 政 会	市民の会	日本共産党	乾 章俊
		6 名	4 名	3 名	2 名	1 名
収入	政 務 活 動 費	900,000円	600,000円	450,000円	300,000円	150,000円
	預 金 利 息	0円	0円	0円	0円	0円
	合 計	900,000円	600,000円	450,000円	300,000円	150,000円
支出	調 査 研 究 費	0円	0円	0円	0円	0円
	研 修 費	0円	0円	0円	0円	114,988円
	広 報 費	460,862円	100,932円	223,107円	379,525円	0円
	広 聴 費	0円	0円	0円	49,500円	0円
	要 請・陳 情 活 動 費	0円	0円	0円	0円	0円
	会 議 費	0円	0円	0円	0円	0円
	資 料 作 成 費	118,057円	145,403円	23,361円	15,630円	7,715円
	資 料 購 入 費	90,052円	92,600円	31,000円	0円	20,000円
	人 件 費	0円	0円	0円	0円	0円
	事 務 所 費	0円	0円	0円	0円	0円
	合 計	668,971円	338,935円	277,468円	444,655円	142,703円
政務活動費充当上限額		668,971円	338,935円	277,468円	300,000円	142,703円
残 額（返 還 額）		231,029円	261,065円	172,532円	0円	7,297円
預 金 利 息 返 還 額		0円	0円	0円	0円	0円

・支出額が政務活動費の収入額又は政務活動費充当上限額を上回る場合は、残額(返還額)を0円と表記しています。

令和5年度 政務活動費交付金収支状況（9月～3月分）

		新風会・公明	市 政 会	優政一心会	日本共産党	下牧 一郎
		4 名	4 名	4 名	1 名	1 名
収入	政 務 活 動 費	960,000円	840,000円	840,000円	210,000円	90,000円
	預 金 利 息	0円	0円	2円	0円	0円
	合 計	960,000円	840,000円	840,002円	210,000円	90,000円
支出	調 査 研 究 費	0円	0円	0円	0円	0円
	研 修 費	274,410円	530,286円	20,000円	0円	0円
	広 報 費	311,626円	0円	658,631円	192,471円	0円
	広 聴 費	0円	0円	0円	0円	0円
	要 請・陳 情 活 動 費	0円	0円	17,247円	0円	0円
	会 議 費	0円	0円	0円	0円	0円
	資 料 作 成 費	45,652円	115,674円	43,599円	34,824円	4,299円
	資 料 購 入 費	216,236円	149,470円	89,788円	60,998円	14,400円
	人 件 費	0円	0円	0円	0円	0円
	事 務 所 費	0円	0円	0円	0円	0円
	合 計	847,924円	795,430円	829,265円	288,293円	18,699円
政務活動費充当上限額		847,924円	795,430円	829,265円	210,000円	18,699円
残 額（返 還 額）		112,076円	44,570円	10,735円	0円	71,301円
預 金 利 息 返 還 額		0円	0円	2円	0円	0円

・支出額が政務活動費の収入額又は政務活動費充当上限額を上回る場合は、残額(返還額)を0円と表記しています。

・政務活動費取扱預金利息についても市に返還しています。

※1・新風会・公明は、下牧議員が令和5年12月で脱会したため、令和6年1月から令和6年3月分を4名分で交付し、下牧議員には、令和6年1月1日付けで会派に所属しない議員として同期間の政務活動費を交付しています。

定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案
■ 表決を行ったもの

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議 案 第 1 号	令和6年度 勝山市一般会計補正予算（第1号）	予 算	可 決
議 案 第 2 号	令和6年度 勝山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	可 決
議 案 第 3 号	令和6年度 勝山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	可 決
議 案 第 4 号	令和6年度 勝山市介護保険特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	可 決
議 案 第 5 号	子ども・子育て支援審議会条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議 案 第 6 号	令和5年度 勝山市一般会計補正予算（第9号）に関する専決処分の承認を求めることについて	予 算	承 認
議 案 第 7 号	令和5年度 勝山市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）に関する専決処分の承認を求めることについて	総務文教厚生	承 認
議 案 第 8 号	令和5年度 勝山市介護保険特別会計補正予算（第4号）に関する専決処分の承認を求めることについて	総務文教厚生	承 認
議 案 第 9 号	市税条例の一部改正に関する専決処分の承認を求めることについて	総務文教厚生	承 認
議 案 第 10 号	地方活力向上地域における固定資産税の特例に関する条例の一部改正に関する専決処分の承認を求めることについて	総務文教厚生	承 認
議 案 第 11 号	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正に関する専決処分の承認を求めることについて	総務文教厚生	承 認
議 案 第 12 号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議 案 第 13 号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議 案 第 14 号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議 案 第 15 号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議 案 第 16 号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議 案 第 17 号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議 案 第 18 号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議 案 第 19 号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議 案 第 20 号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議 案 第 21 号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議 案 第 22 号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
議 案 第 23 号	勝山市農業委員会委員の任命について	—	同 意
★決議案第1号	パレスチナ自治区ガザ地区における人道目的の停戦等の実現に関する決議	—	可 決

◆ 請願・陳情

受理番号	要 旨	付託委員会	議決結果
陳 情 第 1 号	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める陳情	総務文教厚生	不 採 択

◆ 表 決 結 果

※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議 案 番 号	総 投 票 数	投票数		李 江 嵐	吉 田 将 克	浦 上 雄 次	森 か よ 子	安 岡 孝 一	富 士 根 信 子	竹 内 和 順	下 牧 一 郎	近 藤 栄 紀	下 道 恵 子	丸 山 忠 男	帰 山 寿 憲	山 田 安 信	松 山 信 裕
		賛 成 票	反 対 票														
陳 情 第 1 号	13	5	8	○	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	議長

○＝賛成、×＝反対、不＝不在、除＝除斥、議長＝議長職（通常は採決に加わらない）

グッドドライバーレッスン in 恐竜のまち勝山

「めざせ！究極の安全運転」というテーマのもと、ジオアリーナにて「グッドドライバーレッスンin恐竜のまち勝山」が開催されました。

専門インストラクターによる身体機能、認知機能に効果的なストレッチ、モータースポーツ選手による走行レッスン、シミュレーター体験もあり、参加者も安全運転を楽しく学ぶ事ができました。

近年増えているペダルの踏み間違え事故に備えたサポートカー機能の体験などもあり、参加者からは「サポートカー機能の重要性が実感できた」という感想が多くありました。

今後も「事故の無い勝山市」を目指して安全運転に心がけましょう。

(浦上 雄次 記)



グッドドライバーレッスンの様子

議会日誌

4月25日	勝山市遺族連合会評議員総会、勝山市消費者団体連絡協議会総会	9日	勝山恐竜クロカンマラソン、荒土町敬老会
26日	全員協議会、総務文教厚生委員会、市制70周年記念事業実行委員会	13日	本会議（一般質問）
27日	上野こども園 園舎竣工式	14日	本会議（一般質問）、議会広報特別委員会
5月10日	ジオパーク推進協議会	15日	村岡町敬老会
15日	議会運営委員会、全員協議会、建設産業委員会、新中学校建設特別委員会	16日	関西勝山会・勝高会（大阪府）
16日	埼玉県川越市議会行政視察受入	17日	総務文教厚生委員会
20日	勝山市水防協議会、勝山市区長連合会総会	18日	建設産業委員会
22日	北陸新幹線建設促進大会および北陸新幹線建設促進同盟会総会（東京都）、全国市議会議長会定期総会（東京都）、勝山交通安全協会定期総会	19日	予算委員会、議会広報特別委員会
24日	総務文教厚生委員会、勝山市民生委員児童委員協議会総会	20日	新中学校建設特別委員会、議会運営委員会
25日	九頭竜川水系総合水防演習（福井市）、市民体育大会総合開会式	22日	福井県消防操法大会激励会、勝山市防犯隊総会
28日	主要地方道篠尾勝山線改良促進期成同盟会通常総会（福井市）	23日	平泉寺町敬老会、猪野瀬地区敬老会
29日	市制70周年記念事業実行委員会	25日	建設産業委員会、議運、全員協議会、本会議
30日	全員協議会	27日	暴力追放勝山市民会議理事会
31日	福井県社会教育委員連絡協議会総会、勝山商工会議所通常議員総会	28日	勝山市自衛隊協力会役員総会、「山口茜」選手パリ2024オリンピック出場激励会
6月 2日	勝山市水防訓練、北郷町敬老会	29日	かつやま恐竜スクール結成式
6日	本会議、全員協議会、議会運営委員会、総務文教厚生委員会	7月 1日	大野市制施行70周年記念式典（大野市）
8日	福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会（敦賀市）	6日	社会を明るくする運動街頭広報・啓発活動
		9日	羽後町行政視察受入、勝山市交通対策協議会、議会広報特別委員会
		11日	夏の交通安全県民運動市内巡回
		12日	福井県立恐竜博物館特別展開会式、議会広報特別委員会
		13日	勝山市戦没者追悼式
		17日	天草市行政視察受入
		18日	全員協議会
		19日	勝山市防災会議
		22日	福井県消防操法大会激励、新中学校建設特別委員会

編集後記

議会広報特別委員会では、昨年9月より、議会だよりのあり方等について様々な意見を交わしてまいりました。近年、他市町の議会だよりは、横書きの文書が多く、横書きの方が読みやすいといった意見があり、リニューアルしました。

引き続き、一人でも多くの方に、関心を持っていただけるように、読みやすく、分かりやすい議会だよりの作成に取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

(吉田 将克 記)

《議会広報特別委員会》

委員長 丸山 忠 男 副委員長 李 江 嵐 吉田 将 克 浦上 雄 次 富士根 信子

発行：勝山市議会 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL 0779-88-8100(直通)

編集：議会広報特別委員会 〈URLアドレス〉 <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

〈Eメールアドレス〉 gikai@city.katsuyama.lg.jp



議会中継動画